

令和3年度 第2回 提供会員養成講習会

地域の「子育て援助」に興味のある方を対象に開催いたします。講習会受講後は、ファミリーサポートセンターの提供会員「子育て援助ボランティア」として活動していただきます。
※提供会員の活動は有償ボランティアとなり、活動があった際には平日1時間あたり500円の謝礼が支払われます。さらに万が一に備えて保険にも加入します。(保険料はセンター負担)

- 日時 ①令和3年11月10日(水) 10:00~15:00
②令和3年11月16日(火) 10:00~15:00
③令和3年11月22日(月) 10:00~15:00
- 場所 八戸市総合福祉会館(はちぶくプラザねじょう)
- 対象 八戸市近隣在住(※)の18歳以上で心身共に健康な方
- 費用 2,000円(テキスト代)
- その他 参加には申込が必要です。
カリキュラムの詳細については、センターまでお問い合わせください。

提供会員になると、こんなメリットが!

ファミサポ主催の研修会等に参加し、現代の子育ての知識を身に付けることができます。(すべて無料)

お知り合いに子ども好きな方いらっしゃいませんか?

※対象市町村 八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町

ふれあい新聞

ファミリーサポートセンター(ファミサポ)は、子育ての「援助が必要な方」と「援助を行いたい方」を結ぶ会員組織です。



今日も元気に、行ってらっしゃ~い!

とても人懐っこい7歳のYちゃんと、やんちゃな2歳のTくんの二児の母である依頼会員Kさんは、早番の日が週2、3度あるシフト制の仕事をしています。保育園も家から離れているため、朝の忙しさは容易に想像がつきますよね。

Kさんのご主人は県外に単身赴任をされており、軽い注意欠陥の障がいのあるYちゃんを一人で登校させるのはとても心配だったので、Kさんは仕事を続けられないかも悩んでいたそうです。

そんな中、「ファミリーサポートセンター」を知り、朝の預かりや学校までの送迎のサポートを提供会員のJさん、Tさんをお願いすることになりました。登校中にYちゃんを見守ってくれる人がいるという安心感から、忙しい朝、肉体的にも精神的にも余裕ができ、大変助かっていると言います。

提供会員さんは、自分の家庭もあり、仕事をされている方もいます。「自分も子育てで大変な思いをしたから」「少しでも育児を頑張っている親御さんの助けになりたい」と、すきま時間を作ってサポートしてくださるのは、大変ありがたいことです。

令和3年度 第3回 ステップアップ研修

乳児・幼児・児童のための 救命救急法

大切なお子様の命を守る「救命救急法」。今回も救命処置の全般について学びます。なお、「安全・事故」の講習会は、5年に一度の受講が義務付けられました。以前受講された方も、AEDの使用方法や救急方法を忘れないためにも、再度参加することをおすすめいたします。

- 日時 令和3年10月25日(月) 9:00~12:00
- 場所 八戸市総合福祉会館
- 講師 八戸消防署 根城分遣所
- 対象 ファミサポ提供会員と両方会員のみ
- 参加費 無料
- 定員 30名程度
- 締切 令和3年9月22日(水)

★同封したチラシを併せてご覧ください★

開催予定講座一覧

※第2回ファミサポ会員交流会
令和3年12月上旬開催予定

※第4回ステップアップ研修会
令和4年1月26日(水)開催予定
子どもの食生活と栄養について学ぶ予定です♪

★詳細が決まりましたらチラシをお送りしますので、お楽しみに★

編集発行 八戸市ファミリーサポートセンター

〒039-1166 八戸市根城八丁目8-155
社会福祉法人 八戸市社会福祉協議会
TEL 0178-71-2750
FAX・留守電 0178-71-2751

【e-mail】 f_support@hachinohe-shakyo.or.jp
受付時間 電話 … 月曜日~金曜日 8:30~17:00
メール・FAX・留守電 … 24時間
土・日・祝日・年末年始はお休みです

気になる子どもへの接し方

8/18 (水)

今年度2回目のステップアップ研修会では、「気になる子どもへの接し方一障がいについて学ぶ」と題して、八戸市こども支援センター 副所長 種子和憲氏をお招きし、いわゆるグレーゾーンの子どもに対する関わり方について学びました。どの時期においても大人との「ふれあい」がとても大切で、成長してから他者との共感性を育むことができるそうです。

様々な性格の子どもがいますが、現在または将来において生活上支障をきたし、本人が生きづらくなると想定される行動・思考を「気にする」ことが大切だ、と種子先生はお話しました。「障がい」か、「わがまま」かにだけ着目するのではなく、周りの大人がこの子に何を学ばせたいか、どう求めていくか、という問いに変えていき、子ども理解の「範囲」を広げることで、子どものちょっとした成長に気づき、対応できない時は、自分を磨いて次は対応しようと努力することができます。

一人一人に合った手立てを教えるための考え方、ほめ方のコツを学び、小学校教諭の経験を活かした興味深い貴重なお話を伺うことができました。



参加者アンケートから

- 気になる子どもとは、私(大人)が気になる子どものこと。私(大人)の気の持ち方・見方で、気になる子どもが変わるということに気づくことができました。
- 種子さんのお話に引き込まれて時間があっという間でした。またお話を聞きたいです。
- 障がいのある子どもへの接し方は決めつけるのではなく、周りの大人達が接し方を変えることを学び、とても勉強になりました。もっと沢山お話を聞きたかったです。
- とても勉強になりました。種子先生の優しい人柄が伝わり、優しい口調でわかりやすかったです。子ども達の話聞いて、理解し、一緒に考え支援していきたいと思えます。

☆会員の皆さまへお願い☆

依頼会員は、サポート予約・キャンセル時に必ず事前にセンターへ連絡するようお願いいたします。

提供会員は、毎月の利用状況を市に報告しているため、援助活動報告書の提出締切り(毎月5日必着)を必ず守るようお願いいたします。

ご面倒ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

◎コロナ感染予防対策について◎

ファミリーサポートセンターでは、新型コロナ感染拡大防止のため、研修会等の人数制限や体温測定、手指消毒、マスクの着用、換気を徹底し、参加者の安全を第一に取り組んでおります。万が一感染症が流行した場合は、今後予定しているイベントが中止となる場合がございますので、ご了承ください。

ドリームキャッチャー作り

7/27 (火)

今年度初の会員交流会では、蜘蛛の巣が悪夢をからめとり、良い夢を見せてくれるというお守り「ドリームキャッチャー」を作成しました。今回講師をしてくださったのは、ハンドメイドと雑貨のお店 charm 木村まゆみ先生です。

前半と後半に分けて、感染対策を行いながら1時間の工程で行いました。紐の種類や糸の色などを自由に選ぶことができたので、一人一人の個性が光る素敵な作品を作ることができました。3歳児から大人の方まで、皆さま材料選びに時間をかけて、「迷っちゃう」と、はにかんだ様子がとても微笑ましかったです♪



令和3年度 第1回提供会員要請講習会

ファミリーサポートセンターでは、子育てのサポートをしてくださるボランティア(提供会員)を養成するための講習会を年に2回、7月と11月に開催しています。今年度も、7月19日、21日、29日の3日間にわたって開催し、14名の方が受講していただきました。皆様とてもまじめに講師の方のお話に耳を傾け、頷きながらメモを取る姿が印象的でした。

今回受講してくださった方々の、これからの活躍をスタッフ一同願っております。今すぐサポート活動することができなくても、子どもが好きな方は育児について勉強できるチャンスです。「もう一度受けてみたい」という方も、11月に講習会を予定しておりますので、興味のある方はセンターまでご連絡ください。



提供会員が不足しています。友人や知人の方もぜひお誘いください♪

Q 受講のきっかけは? ~参加者アンケートから~

- ◆ 若い時から50歳を過ぎたらボランティアをしたいと思っていた。きっかけは「広報はちのへ」ですが、地域の小さな繋がりからはじめて、徐々に行動範囲を広げていけたらと思います。
- ◆ 妻が提供会員をやっているのでも、夫婦共に提供会員になれば依頼会員にとっても安心が提供できるのではないかと考えた。
- ◆ 就活中だったが、ゆっくり探していたので、その間に参加しておこうと思った。子どもが好きなので、子どもに関わることがしたいと思った。

